



企画展

脅かされる私たちの暮らし ～迫りくる特定外来生物～

外来生物は、日本の生物多様性や、
私たちの生活に欠かせない生物多様性の恵みを低下させる
主要因の一つであり、
その対策は世界的に大きな社会問題となっています。

外来生物の中でも、とくに日本の生態系や人の健康、
農林水産業への影響が深刻なものは、
外来生物法により特定外来生物に指定されています。

大阪ではこれまでも、特定外来生物である
オオクチバスやアライグマなどによる
水生生物や農作物への被害が大きな問題となってきました。

さらに近年は、ヒアリによる人身被害や、
クビアカツヤカミキリによるサクラの衰退など、
新たな特定外来生物によって私たちの生活が脅かされています。

この企画展では、生物多様性センターで行っている
調査研究成果を交えながら、
どのような特定外来生物が大阪に生息し、
どのような影響を及ぼすのかについて、
生きた個体の展示や、標本の展示を通してお伝えします。



在来生物と外来生物

- 外来生物（外来種）とは、もともとそこにはいなかったのに、人間によって、別の場所から持ち込まれた生物のことです。
- 元々その場所にいた生物は在来生物（在来種）と呼ばれます。
- 外来生物は、人間を傷つけたり、在来生物を食べたり、すみかを奪ってしまうなどの問題を引き起こします。

国外外来生物

外国から日本に持ち込まれた



オオクチバス（ブラックバス）

国内外来生物

日本の他の場所から持ち込まれた



ゲンジボタル

- 国外外来生物のうち、とくに人間や在来生物に悪い影響を与えるものは特定外来生物法（正式名称：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）により「**特定外来生物**」に指定されています。
- 特定外来生物に指定された生物（卵や種なども含まれますが、生きているものに限ります）は、生きたまま運ぶことや、飼育したり、栽培することが禁止されます。
- 違反した場合、個人には3年以下の懲役や300万円以下の罰金、法人には1億円以下の罰金が科されます。

大阪にいる特定外来生物

アライグマ



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：ペット
- 大きさ：4～9kg、40～60cm
- 雑食性で幅広い環境に生息できる。
(何でも食べる、どこでも棲める)
- 手先が器用で木登りも上手なので、果樹や野菜などの農作物への被害が大きい。
- 気性が荒いので、人が噛まれてケガをするような人身被害も生じやすい。

- 大阪では都市部から森林に至るまでほぼ全域に分布しており、神社やお寺などへの浸入や、在来生物への影響にも注意が必要となっている。

ヌートリア



- 原産：南アメリカ
- 移入理由：毛皮利用
- 大きさ：6～9kg、50～70cm
- 年数回、平均5頭を出産（非常に増えやすい）
- 泳ぎが上手で流れのゆるい川や池に棲む。主に植物食だが、貝や魚を食べることもある。
- 大阪では淀川など北部を中心に分布しており、イネなどへの農業被害があるほか、在来の貝や魚への影響が心配される。

クリハラリス



- 原産：台湾、中国南部～インド北東部
- 移入理由：ペット・観賞用
- 大きさ：300～400g、20～26cm
- 在来のニホンリスとの競合が問題となっている。
- ニホンリスと違い、お腹が栗色なのが特徴。
- 大阪城公園などに分布している。

大阪にいる特定外来生物

オオバナミズキンバイ



- 原産：北アメリカ南部・南アメリカ
- 移入理由：観賞用
- 岸から水面へと横に茎や葉をのばし、水上と水中に厚く繁茂する。
- ちぎれた茎や葉からも、どんどん増える。
- 大繁茂することで他の在来植物の生育を脅かすだけでなく、水中に光が届かなくなり、水生生物の生息環境も悪化させる。
- 琵琶湖での大繁茂が大きな問題となっており、大阪でも淀川などに侵入し始めている。

ナガエツルノゲイトウ



- 原産：南アメリカ
- 移入理由：観賞用
- 水辺の湿った環境に生え、枝分かれした茎を水上に多数伸ばして繁茂し、水面を覆いつくす。
- ちぎれた茎からも増えることができる。
- 他の在来植物の生育を脅かし、水流を阻害して水生生物の生息環境を悪化させる。
- 大阪では淀川で2000年頃に確認されて以降、分布が拡大している。

クビアカツヤカミキリ



- 原産：朝鮮半島、中国～東アジア
- 移入理由：貨物や木材への付着
- 大きさ：2～4cm
- 光沢のある黒い体と、赤い胸部が特徴。
- 幼虫がサクラ、ウメ、モモなどの樹の内部を食い荒らし、弱らせたり枯らしたりしてしまう。
- 大阪にも2015年に侵入し、南河内地域を中心に分布が拡大している。

大阪にいる特定外来生物

オオクチバス



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：釣りや食用
- 大きさ：30～50cm
- 池や湖、流れのゆるやかな河川の中・下流に生息する。
- 魚や甲殻類などを食べる肉食性で、在来生物への影響が大きい。

コクチバス



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：釣り
- 大きさ：30～50cm
- オオクチバスに比べ、流れの速い河川に生息できる。
- 魚や甲殻類などを食べる肉食性で、在来生物への影響が大きい。

ブルーギル



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：釣りや食用など
- 大きさ：約25cm
- 池など止水域に生息する。
- 魚卵や甲殻類などを食べる。
- 繁殖力が強い。

ウシガエル



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：食用
- 大きさ：10～20cm
- 池や沼などに生息する。
- オタマジャクシも体が大きく、敵が少ないため増えやすい。

大阪にいる特定外来生物

チャネルキャットフィッシュ



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：食用
- 大きさ：1mを超える
- 通称アメリカナマズ。
- 池や湖、流れのゆるやかな河川の下流に生息する。
- 魚や甲殻類などを食べる肉食性で、在来生物への影響が大きい。

カダヤシ



- 原産：北アメリカ
- 移入理由：ボウフラ退治
- 大きさ：3～5cm
- メダカに似るが本種はグッピーの仲間、卵ではなく仔魚を産む。
- 池や湖、流れのゆるやかな水路や河川の下流に生息する。
- 生息場所が同じメダカと競合し、駆逐してしまう。

カワヒバリガイ



- 原産：東アジア～東南アジア
- 移入理由：移入シジミ類に混入
- 大きさ：2～3cm
- 足糸と呼ばれる繊維状の物質を分泌して水路の壁や河川の岩などに付着する。
- 大量に付着することで水路の通水障害を引き起こしたり、魚につく寄生虫の宿主となって魚の病気を広めてしまう。



淀川における特定外来生物の魚類

大阪府レッドリスト(2014)の“生物多様性ホットスポット”Aランクの淀川ワンド群を中心に、特定外来生物に指定された魚類の生息状況や、在来魚や生態系に及ぼす影響の調査を行っています。

オオクチバスとブルーギルが在来魚類へ及ぼす影響

- オオクチバスは止水域に好んで生息します。その名の通り口が大きく、在来魚や甲殻類を貪欲に捕食します。
- ブルーギルはオオクチバス同様、止水域に生息します。口は小さいが、在来魚の卵や仔稚魚を好んで捕食します。
- 2006年に淀川の城北ワンド群の一つのワンドで、ワンドの水を全部抜く魚類調査を行ったところ、約90%がオオクチバスとブルーギルでした。
- 1970年代から2010年代にかけて淀川各所で行った地引網調査では、1990年代に比べて2000年代に2種の割合が急増していることが明らかです。これは、イタセンパラなどの在来魚種が減少した時期と重なります。
- イタセンパラの野生復帰を行った城北ワンドでは、当所や国交省、イタセンネットが、これら2種の防除に取り組んでいることで、在来種が増加しています。



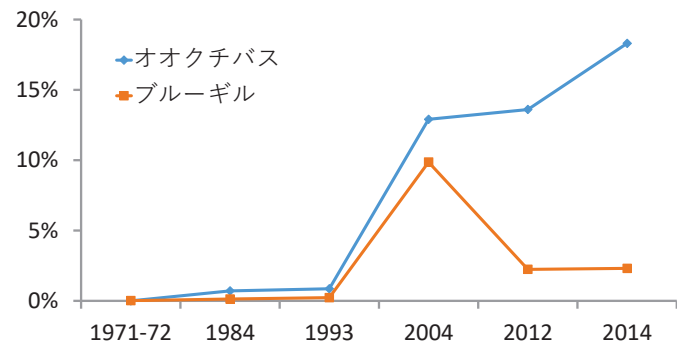
オオクチバス



ブルーギル



ワンドの干し上げ調査の結果 (2006年)



淀川全域地引網調査での全採捕個体数における2種の割合推移

新たな特定外来生物の侵入

- コクチバスとチャネルキャットフィッシュが淀川で確認されています。両種とも小型個体が見つかっており、今後の生態系への悪影響が懸念されます。
- 2018年4月にガー科全種が、特定外来生物に指定されました。当研究所の調査でも城北ワンドで、繁殖可能な個体が確認されています。ペットが放逐された個体と考えられます。



コクチバス



チャネルキャットフィッシュ



アリゲーターガー

2012年に城北ワンドで捕獲全長110cmの個体

世界を脅かす日本の在来生物

- たくさんの特定外来生物たちが、日本の産業、環境や生物たちに悪影響を与えている一方で、全く逆の事も起こっています。
- 日本ではありふれた、なじみのある生物たちが、海外に渡ったことで、外来生物として外国で悪影響を及ぼしているのです。
- 国際自然保護連合が定めた「世界の侵略的外来種ワースト100」にも、日本の在来生物のいくつかが数えられています。

イタドリ



- 北海道～九州まで普通にみられ、山菜として親しまれている多年草。
- 園芸植物として海外に輸出された。
- イギリスやアメリカなどで大増殖し、在来植物の生育を脅かしている。

クズ



- 北海道～九州まで普通にみられるマメ科のつる植物。根からとれる葛粉やつるの繊維が昔から利用されてきた。
- アメリカに飼料・園芸用に輸出されたものが大繁茂し、猛威をふるっている。

その他の問題となっている主な在来種



アカギツネ



コイ

- 哺乳類：アカギツネ・オコジョ・クマネズミ
- 鳥類：ホシムクドリ
- 魚類：コイ
- 節足動物：ヒトスジシマカ・マイマイガ
- 軟体動物：ヌマコダキガイ
- 水生植物：ワカメ
- 陸上植物：エゾミソハギ・チガヤ



おおさか

とくていがいらいせいぶつ

いちらん

大阪にいる特定外来生物一覧

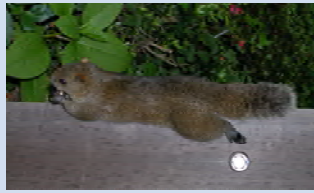
- 現在指定されている種類のうち、約2割が大阪にも侵入済です。
- みなさんの近くにも、迫って来ていないでしょうか？

哺乳類

ヌートリア



クリハラリス



アライグマ



鳥類

ソウシチョウ



魚類

アリゲーターガー



チャネルキャットフィッシュ



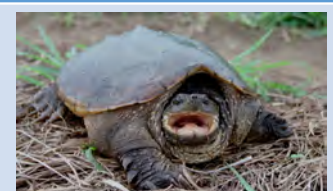
コクチバス



ほか、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス

爬虫・両生類

カミツキガメ

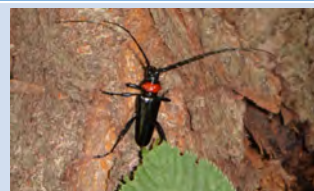


ウシガエル



昆虫類

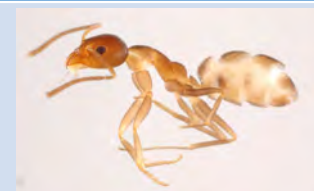
クビアカツヤカミキリ



ヒアリ



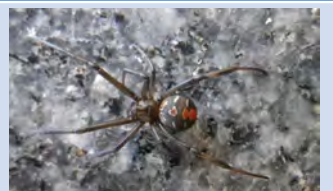
アルゼンチンアリ



ほか、ハヤトゲフシアリ、アカカミアリ

クモ・サソリ類

セアカゴケグモ



ほか、ハイロコケグモ

植物

オオバナミズキンバイ



ミズヒマワリ



アレチウリ



軟体動物等

カワヒバリガイ



ほか、オオキンケイギク、ナルトサワギク、オオハンゴンソウ、オオカワヂシャ、ナガエツルノゲイトウ、エフクレタヌキモ